

「簡易な施工計画」を記載するにあたっての注意事項

1 記載方法について

入札公告に添付されたファイル（様式第5－1号、様式第5－2号）を必ず使用し、フォーマットに従って1課題あたり4項目を限度とし、1項目につき1つの提案を記載すること。（A3サイズ1枚に収め、箇条書き）1項目の文字数は150文字までとする（空白や改行も1文字に含む。セルの高さは変更してよい）。施工計画を補完するための写真・図・イラスト等は、右欄「◎図表等」の枠内にのみ添付すること（別添資料は不可）。

（評価の対象としない記載方法の例）

- ① 指定した用紙サイズ、フォーマットを用いていない場合。
- ② 指定した項目数（4項目）を超えた提案を行った場合の5項目以降。
- ③ 複数の同様な提案を記載した場合の2つ目以降の提案。
- ④ 同一項目内で複数の提案を記載した場合の2つ目以降の提案。

2 記載内容について

課題に対応した様々な着目点からの提案を記載すること。提案については履行義務を伴うため、実施の可能性や具体性には十分配慮すること。

（評価の対象としない記載内容の例）

- ① 実施するための判断の方法や基準、場所、時期、実施頻度、数量等が不明確であり、効果が判断できないもの。
- ② 実施にあたり第三者との協議・承諾を要するもののなかで、実施できるのか不明瞭なもの。
- ③ 実施が曖昧なもの（「…の場合は…。」、「…を必要に応じて…。」、「できる限り…。」、「…等を使用する。」、「…の使用を検討する。」など）。
- ④ 「共通仕様書」や「施工管理基準」等に記載された内容と同様のもの（管理基準等を自主的に上乗せ設定したものを含む）。
 - 設計図書や基準等に記載の施工回数や管理回数（頻度）の変更
- ⑤ 数量・構造等に設計変更を要するもの。
- ⑥ 図面、仕様書等で明示している工事目的物の仕様、形状、規格の変更（配筋、目地等の変更・柵等の嵩上げを含む）。
- ⑦ 工事目的物に使用する材料の変更
 - コンクリートへの添加剤、仕様・強度・規格・配合の変更など
- ⑧ 図面、仕様書等で明示している使用機械や仮設材等の変更や追加。
 - As 舗装等の追加施工、機械式水処理設備（中和処理設備、濁水処理設備等）の追加設置、人員（交通誘導員、監視員等）の増員、追加配置 などの過度なコスト負担を要するもの。
- ⑨ 標準的な現場管理や安全管理、労働安全衛生に類するもの。
 - 工事看板の設置、補修や清掃及び散水、場内に水を入れないための仮排水や水替え など
- ⑩ 一般的な法令・規則の遵守やマナーの向上に類するもの。
 - 飲酒運転、過積載、ポイ捨ての抑止 など
- ⑪ 当該工事と無関係のもの。
 - 地域やボランティア団体等が実施している清掃活動等への参加 など
- ⑫ 工期内に履行が確認できないもの。
- ⑬ 提案の内容が課題に対するものとして適当でないもの。
- ⑭ 提案の内容の効果の程度が小さいと判断されるもの。
- ⑮ 提案の内容の効果の程度が不明瞭なもの。
- ⑯ 提案の内容が採用できないもの（実施不可）。

3 その他

上記で「評価の対象としない記載内容」としているものであっても、現場での実施を妨げるものではない（実施不可を除く）。記載された提案内容が履行されなかった場合、工事成績評定の減点や指名停止になることがある。提案事項は、設計変更の対象にならないので注意すること。